



燕市立燕東小学校 学校だより

令和6年10月17日

No. 7

↓学校ホームページ

あすなる



主体的に考え判断し行動する

～スマホ デジタル情報機器とのつながりから～

校長 鈴木 華奈子

「わあ、いいなあ。私もスマホほしい!」「ゲーム入っていますか?」「LINEは?」

時折、公用スマホに注目した子どもたちが聞いてきます。

電話はもちろん、ニュースや天気、災害など、今知りたい情報をすぐ入手でき、ゲームや動画・読書・音楽などの娯楽も楽しめて、LINEなどでの家族や仲間とのつながることもできるスマホ。私たちの様々な「～したい」に応える便利な道具です。

スマホが普及してから十数年。電車の中、周り中の人々がスマホをのぞき込んでいるのはよくある風景となりました。世帯での主な情報通信機器のうち、スマホの保有率が9割を超えた昨年度(※総務省調査)、子どもたちにとってスマホは、小さい頃から身近にある“便利な道具”“楽しい道具”なのでしょう。



しかし、その使い方によっては、不眠になったり、体調を崩したり、精神的に不安定になったりする事例も少なくありません。これは、なぜなのでしょう。

スウェーデンの精神科医がこのことについて書籍で示していました。メッセージや「いいね!」、新しい知識、情報などをついつい無意識のうちにスマホで確認してしまうのは、「見返りを得ること」「情報を得ること」に対し、報酬系ドーパミンを大量に分泌するシステムを脳がもっているからです。この脳のシステムは、本来、危険な世界で人間を守るべく進化したシステムなのです。しかし、スマホによりこのシステムがハッキングされ、スマホを手放すことができなくなっていきます。中には日常生活に支障が生じる“スマホ依存症”に至る場合もあります。

スマホを手放しにくい状況から脱出するには、人と会い話すこと、体を動かすこと、スマホの利用時間を決め自分でコントロールすること等が有効だとこの精神科医は言っています。その時間に何をするか考え、決め、行動すること。「受動的」ではなく「主体的」であることが大切なのです。

SNS やオンラインゲーム等で、心無い言葉の書き込みやふるまい等によりトラブルになる場合があります。トラブルが生じたときにも、その背景に何があるのか、子どもたちとともによく見つめ、互いに傷ついた仲間の気持ちと次に自分がどうしたいかについて考え、行動に移していきます。

身近にあふれるデジタル機器は便利な道具、楽しい道具ですが、道具に振り回される「受動的な自分」ではなく、道具を使いこなす「主体的な自分」となるよう子どもたちと一緒に考え続け、行動を促していきたいと思えます。

地域教育プログラム 各学年の取組

地域とともに歩む燕東小学校の「地域教育プログラム」の取組を紹介します。子どもたちが地域に出かけた際は、ぜひあたたかく見守ってください。

<h3>1学年「がっこう だいすき」</h3>	<h3>2学年「とびだせ、燕探検隊！」</h3>
<p>1年生の生活科では、学校職員や学校生活を支えてくださる方々と触れ合い、お話を聞く学習があります。そこで、「登下校見守り隊」のみなさんをお迎えし、どのようなお気持ちで毎朝子どもたちを見守ってくださっているかなどをお話していただきました。直接会って話を聞いたり質問したりすることで、子どもたちがより一層見守り隊の方々を身近に感じることができました。劇やダンス、歌で日頃の感謝の気持ちを伝えました。</p> 	<p>2年生の生活科の学習では、地域の良さを見つける学習として、「まちたんけん」に出かけます。1学期は、商店街で行われている「三・八の市」や燕駅に行き、見学したり地域の方と触れ合ったりしました。</p> <p>2学期には、グループに分かれて、地域のお店や施設の見学に行ったり、「みんなであかまちのしせつ」の学習で「燕図書館」に行ったりする予定です。</p> 
<h3>3学年「めざせ！つばめピカ1マスター！」</h3>	<h3>4学年「わたしたちの赤門」</h3>
<p>3年生の総合学習は、燕東小学校区の人やものについて調べています。地域で活躍する人々や伝統ある地域の建物、商店に目を向けます。</p> <p>1学期は、グループごとに地域の人や工場、商店等からお話を聞いてきました。</p> <p>2学期は、学習してきたことを「すごろくゲーム」として形にするため、制作に取り掛かっています。完成後、他校の先生方や地域住民と一緒に遊び、意見をいただきながら学びを深めています。</p> 	<p>1学期は燕東小学校の象徴である「赤門」について調べました。地域の方や他の学年にもっと赤門のことを知ってもらうために「道の駅あかもん」を作って地域の方へ発表しました。</p> <p>2学期は、燕市産業史料館を訪れたり、インターネットを活用して調べたり、地域コーディネーターの方々に教えていただいたりして、赤門の原点である和くぎや、燕のものづくりの歴史について学習を進めています。</p> 
<h3>5学年「見学しよう！体験しよう！燕SPIRITS！」</h3>	<h3>6学年「深めよう！広げよう！燕愛！」</h3>
<p>1学期は、地場産業振興センターを見学したり、燕市の金属加工の歴史について調べたりしてきました。また、金属加工会社を見学して職人さんの話を聞いたりすることで学びを深めました。</p> <p>2学期からは、マーケティングについて学び、自分たちの会社を設立し、どんなことができるかを考えていきます。実際に、企画やデザイン、販売といった体験を通して、燕のものづくりに対する思いやこだわりについて考え、地域の方に発信していきます。</p> 	<p>1学期は、「燕SPIRITSを見直す」ことを目的に、修学旅行で訪れた佐渡と燕を比べることで「燕の魅力」を再発見しました。</p> <p>2学期のテーマは「燕の今、燕の未来、私の未来」。市役所の方から燕市の現状や課題、課題解決に向けた取組についてお聞きしました。今後も、燕市で活躍している方とたくさん交流して、「未来の燕宣言」（ふるさと燕のために自分ができること）につなげていきます。</p> 

全力疾走！がんばった親善陸上大会！

6学年担任

9月11日(水)に燕市・弥彦村小学校親善陸上大会が行われました。6年生全員が100m走にエントリーし、男女混合100m×4リレーは各学級男女2人ずつ選抜児童が出場しました。約600人が集まった会場を目の前にした6年生は、ドキドキしながらもワクワクした様子でした。途中、大雨で中断したり、雨が上がると気温が上昇したりと不安定な環境の中、子どもたちは、激励会で全校からももらったたくさんの勇気とパワーを胸に、全力で走り切ることができました。リレーでは、6年2組が見事優勝しました。燕東小初の優勝カップです。夏休み明けから、厳しい暑さと工事のため練習が制限された中での参加となりましたが、子どもたちの走りは立派でした。本気でがんばったり、全力で仲間を応援したりとすばらしい姿が見られた一日となりました。



自己新記録を目指して！ 持久走記録会！

体育主任

10月2日(水)に校内持久走記録会が行われました。今年度は体育館の工事があり、例年とは異なる特別コースでした。保護者の皆様からは、あたたかな応援や励ましをいただきました。ありがとうございました。

前日までの練習では、残暑や雨の影響でなかなか練習する機会が取れない中、子どもたちは試走や20分休みのランニングタイムに、常に真剣に取り組んでいました。放課後や休日にも練習に励む子もいました。今までの自分を超越するために、努力する姿が立派でした。

記録会当日には、自己新記録を目指して最後まで走りきる姿、がんばる仲間を応援する姿など、子どもたちのすばらしい姿がたくさん見られました。この経験を、今後の学校生活に生かしていけるよう、支援してまいります。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

記録会の運営にご協力いただいたPTA保健体育部の皆様、ご協力ありがとうございました。



自然と触れ合った 5年生自然教室

5学年担任

9月26日(木)、27日(金)5年生は、高柳で自然教室を行いました。2年生からもらったてるてる坊主のおかげで、日中のお天気は良好！

この2日間は、様々な活動を行いました。「沢登り」では、鬼沢川(おんぞがわ)を100mほど歩きました。冷たい川に足をつけるところから子どもたちは大興奮！川の流れに気を付けつつ、クルミを見つけたりむき出しになった木の根を見たりと自然を感じることができました。

「石のペンダント作り」では、ろう石を様々な方法で削って形にしていきました。好みの形に仕上げていく子どもたちの集中力は抜群でした。

「キャンドルセレモニー」では、火の神、火の守が点火台のろうそくに点火し、幻想的な雰囲気の中活動を行いました。活動班で事前に準備してきたスタンプは、大盛り上がり！！みんなで踊ったダンスは、笑顔でいっぱいでした。

「アドベンチャーゲーム」「ガルル王からの挑戦状」「自然探検ウォークラリー」では、グループでの協力やみんなの知恵が必要な課題やクイズに挑戦しました。一人一人の発想や意見に耳を傾け、互いに声をかけ合うことの大切さや達成したときの成就感を味わうことができました。

2日間の自然教室の中で、子どもたちの様々な成長場面を見ることができました。仲間との協力や励まし、決まりを守ろうとする態度は、学年目標の「LEVEL UP!～はじめ、チャレンジ、スマイル～」の実現に近づく姿だったと思います。これからも、仲間と励まし合い、自主的に行動し、はじめのある行動を心がける学年に成長して行ってほしいと思います。



水泳授業は 地域に見守られて

教務主任

今年度も、水泳の授業はB&G海洋センターのプールを使って行いました。例年、燕東小学校の水泳授業は、保護者・地域ボランティアの方にご協力いただきながら実施しています。

実際に水泳指導に携わっていただくことはもちろん、授業に取り組む子どもたちの安全管理や難しいことに挑戦しようとする子への励ましなど、ボランティアの方からご協力いただくことで、学校職員は安心して子どもたちへの指導に専念することができました。

プールに行ける数少ない機会に子どもたちが思いっきり水泳を楽しみ、笑顔で「楽しかった！」と授業を終えられるのも、地域の皆さんから見守っていただいているおかげだということを実感しています。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました！

